

外国人観光客向けプロモーションと国立公園等国際化整備

平成25年度
補正予算額
1,200百万円

日本には外国人旅行者を惹きつける豊かな自然が多数存在

政府は、観光立国実現に向けたアクション・プログラムを定め（H25.6.11観光立国推進閣僚会議）、**訪日外国人旅行者**を現行の1,000万人から**2,000万人へさらなる上積みを目指し**ている。

訪日外国人旅行者が平成25年度上半期において、前年比23%増と大幅増加している上、これらの旅行者は日本の自然や景勝地に大きな関心を有している。

2020年の**東京オリンピック開催が決定**し、日本の注目度が高まっている状況の中で受入れ環境の整備を積極的に実施する**好機**である。

訪日外国人旅行者に対して日本の自然の魅力に触れてもらうため、施設の整備やソフトメニューを強化

地域自然資源活用重点整備運営事業（公共） （国立公園等バリューアップ事業）

国立公園等において、外国語併記の標識の改善、ビジターセンターでの外国語による窓口対応やパネル等展示施設の整備等、**訪日外国人への対応を抜本的に強化**



情報発信による
付加価値UP



有効な整備地
の選択



情報発信による
付加価値UP

自然の魅力満載外国人向けプログラム開発
国立公園を世界に発信するWebの強化

外国人向けモニターツアーの実施・検証
外国人目線でのWeb発信を強化



(H25当初予算事業)

訪日外国人旅行者の動向調査

訪日外国人旅行者のニーズを把握するため、国内での国立公園等の利用動向を調査



Webによる情報発信戦略の策定

外国人旅行者のニーズに応えた情報をWebを活用し、国内外への情報発信戦略を策定



国立公園等における外国人旅行者のニーズを考慮し重点的に整備していくことにより、さらなる外国人旅行者への訪問者数の増大が可能

地域自然資源活用重点整備運営事業 (国立公園等バリューアップ事業)

国立公園の地域自然資源活用重点整備運営事業

多くの訪日外国人が来訪する我が国を代表する景勝地である国立公園において、外国語併記の標識の改善やビジターセンターでの外国語による窓口対応やパネル等展示施設の整備等、訪日外国人への対応を抜本的に強化するとともに、対象となる優れた自然資源を維持するための施設の整備を実施する。



(案内標識の多言語表記)



(小笠原・グリーンアノール対策)



(公共施設の多言語表記) (情報提供施設での窓口対応強化)



国定公園等の自然環境整備交付金事業

国定公園等において、地方公共団体が実施する訪日外国人対応のための多言語標識の整備等訪日外国人の利用に資する整備に対して、総事業費の45%を自然環境整備交付金により支援する。



国立・国定公園の利用環境が一層充実し、訪日外国人の増加をはじめ、
地域の観光振興・活性化に寄与